

COC 事業アンケート調査結果

本学学部学生、教職員および連携自治体を調査対象としてアンケート調査を行った。

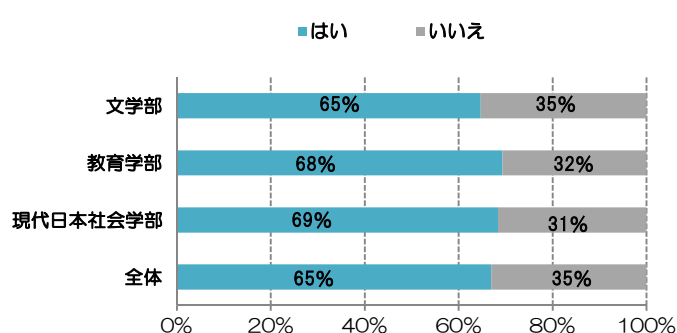
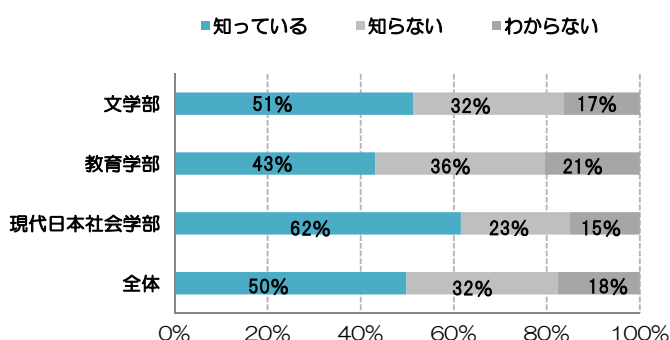
【実施年月】	平成 27 年 4 月 27 日（月）～5 月 13 日（水）		
【実施対象】	全学部学生	2945 名	（有効回答数：2493、有効回答率：84.7%）
	全教員	87 名	（有効回答数： 65、有効回答率：74.7%）
	全職員	88 名	（有効回答数： 87、有効回答率：100%）
	連携自治体	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、 南伊勢町、明和町	

【調査結果】

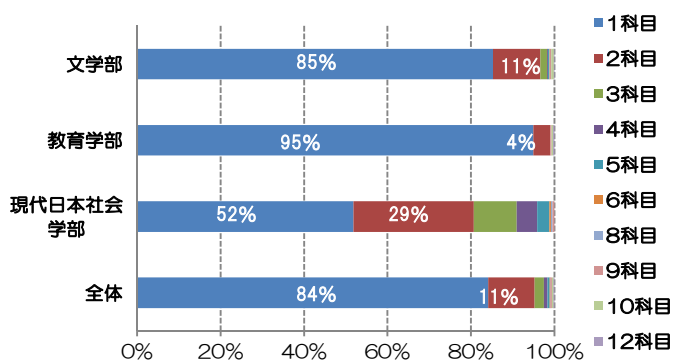
<学部学生アンケート>

1. 皇學館大学が「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。

2. 皇學館大学が「地域のための大学」として実施する以下の授業科目等*を受講したことがありますか。



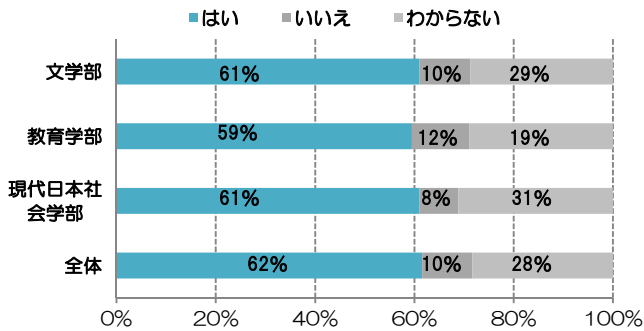
3. 「2.」について。
受講したことがある科目は何科目ですか。



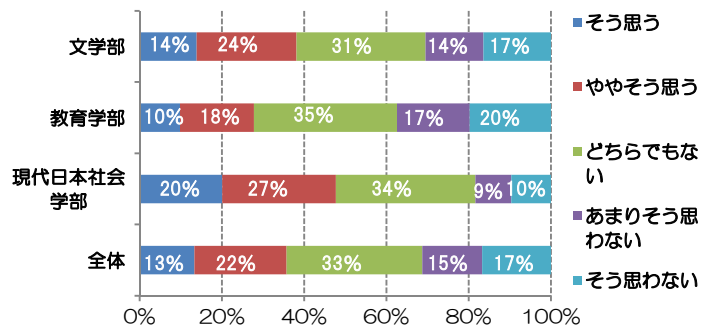
*：該当授業科目名

- 『伊勢志摩定住自立圏共生学』科目Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ
（選択・2年次・全学共通）
- 「伊勢学」（必修・1年次・全学共通）
- 「ビジネス実践論：グローバル化と地域の経済社会」
（選択・2年次・現代日本社会学部他）
- 「作物栽培学講義」（選択・1年次・現代日本社会学部他）
- 「作物栽培学実習」（選択・1年次・現代日本社会学部他）
- 「公共政策論」（選択・2年次・現代日本社会学部他）
- 「地域再生論」（選択・2年次・現代日本社会学部他）
- 「経営学概論」（選択・2年次・現代日本社会学部他）
- 「マネジメント論」（選択・2年次・現代日本社会学部他）
- 「農業政策論」（選択・3年次・現代日本社会学部他）
- 「イノベーション論」（選択・3年次・現代日本社会学部他）
- 「マーケティング論」（選択・3年次・現代日本社会学部他）

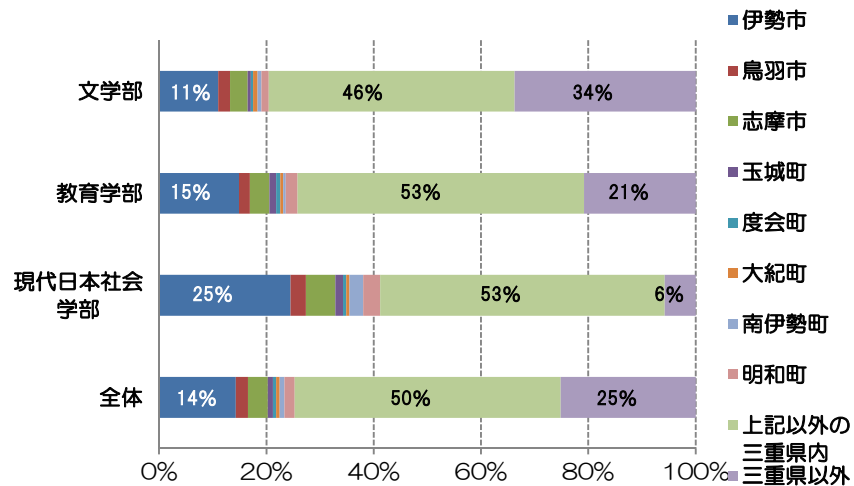
4. 「2.」について。「地域のための大学」として実施する科目を受講した結果、課題を含めた地域の現状を把握するとともに、地域の課題解決に役立つ知識・理解・能力は深まりましたか。



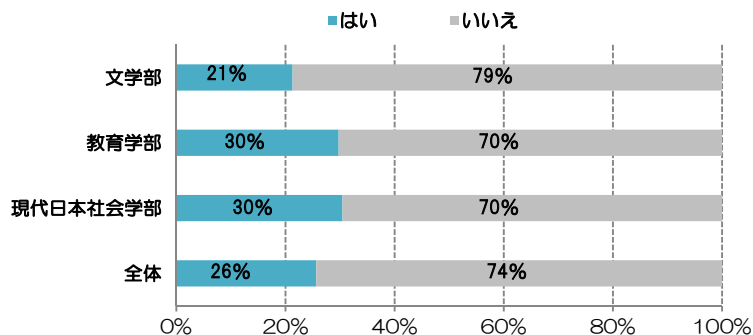
5. 「2.」について。上記科目の受講が、大学のある地域（三重県）の企業や自治体等に就職するきっかけになりましたか。



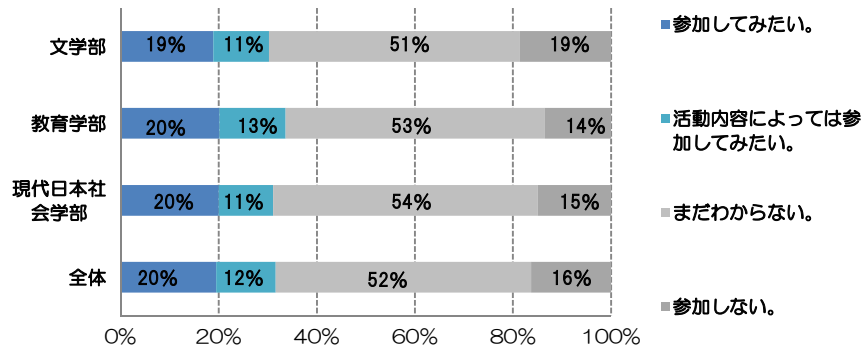
6. あなたの出身地（高等学校3年在学時の住所）1つ選んでください。



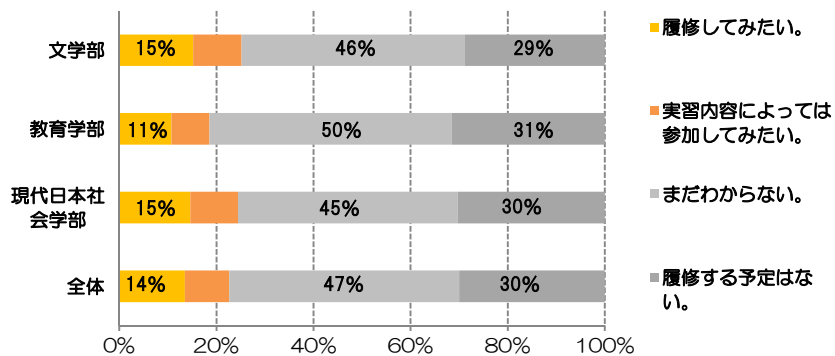
7. あなたは、これまで(大学在学中)に、地域（「6.」の選択肢①～⑧の市町または三重県内の他地域）に関する学修や地域貢献活動に従事したことがありますか。



11. 皇學館大学では、今年度から、本事業で連携する3市5町をフィールドにして、地域の住民や自治体職員等と交流しながら、継続的に協働して地域の現状を調べたり、地域の課題解決に取り組む CLL（コミュニティ・ラーニング・ラボ）活動を企画・実施してゆく計画です。あなたは、このような活動に参加してみたいと考えますか。

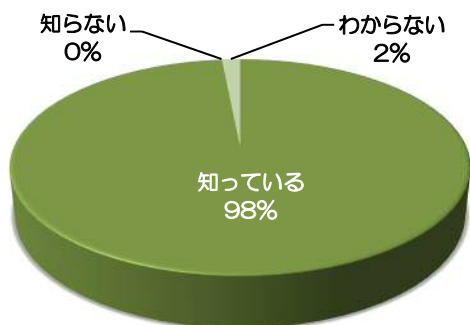


12. 次年度より「伊勢志摩共生学実習（地域インターンシップ）A～D」（3年次配当/各1単位）を開講する計画です。あなたは、この授業を履修したいと考えますか。

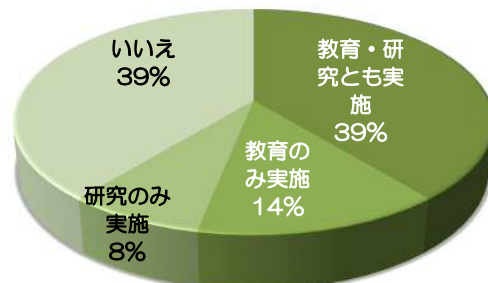


<教員アンケート>

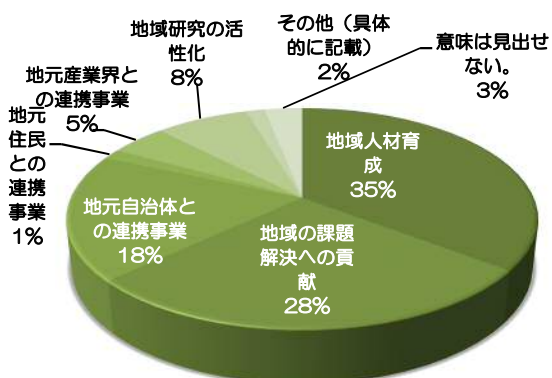
1. 皇學館大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



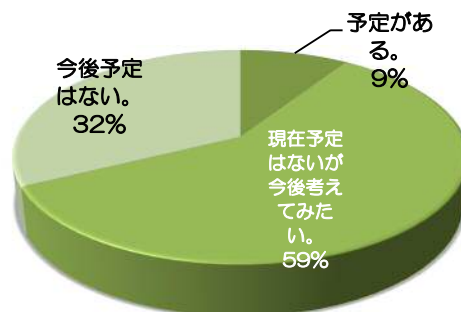
2. 「地域のための大学」として、地域を志向した教育・研究に参加していますか。



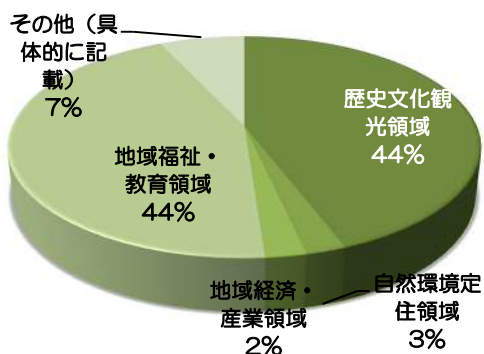
3. 本学が現在取り組んでいる「地（知）の拠点整備事業」は本学にとってどのような意味があると考えますか。最もあてはまると思うものを1つ選んでください。



4. 今後、新たに単独又は他の教員と協働し、研究開発推進センターのプロジェクト研究部門において「地域志向研究」に取り組む予定はありますか。ここで地域志向研究とは、本事業で連携している3市5町又は三重県内をフィールドとして行われるものを指します。

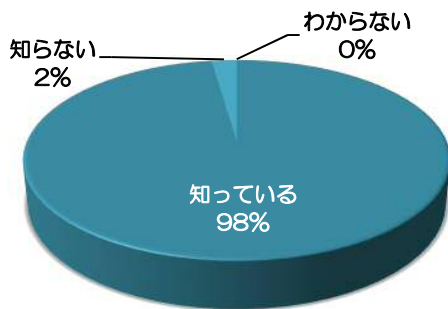


5. 「4.」について。その領域は次のいずれの領域ですか。



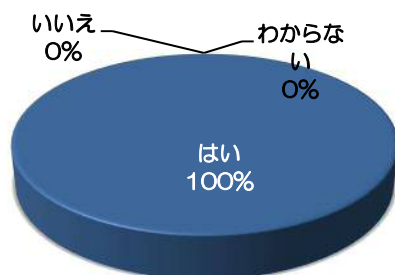
<職員アンケート>

1. 皇學館大学が、「地域のための大学」として地域に関する教育・研究・社会貢献活動を推進していることを知っていますか。



<連携自治体アンケート>

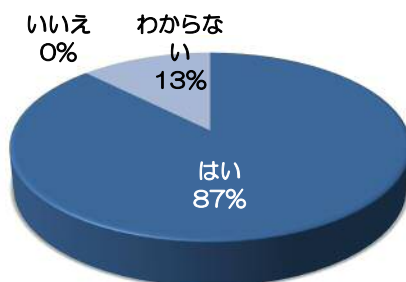
1. 皇學館大学の取組は、副申した事業計画どおりに進捗していると思いますか。



理由：(はい)

- ・昨年度内に各種準備作業を終え、本年度教育プログラムの実施にこぎつけた。
- ・事業計画どおりに進捗している。
- ・運営会議の開催など、概ね計画通りに事業は進められた。
- ・期待したい。
- ・議事内容について調整・審議をさせていただいて計画どおり事業を推進されたと思う。
- ・運営会議も計画通り実施され、H27年度プログラムも予定通り
- ・スケジュール調整に苦慮しながらも計画通りに進捗していると感じる。
- ・ほぼ計画通り事業が行われている。

2. 皇學館大学の取組について、円滑な連携のもとに実施されていると思いますか。



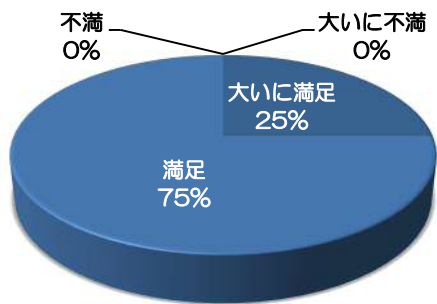
理由：(はい)

- ・運営会議において、十分な調整がなされている。
- ・定期的に会議を開催し、情報共有に努めている。
- ・事業を実施する上で、他大学・市町と連携し推進されたと思う。
- ・計画段階ではあるが、円滑に進んでいる。
- ・しっかりとした連携が取れていると感じる。
- ・定住自立圏共生学運営会議で連携がとれている。

理由：(わからない)

- ・自治体として職員を参画させているが、地域との円滑な連携という点では不明

3. 皇學館大学の取組は「地域のための大学」として満足するものですか。



理由：(大いに満足)

- 地域課題に対して主体的に行動できる学生の育成や、その専門性を生かした市政への協力、支援に感謝の意を表す。
- 地域に根付き、地域に密着した大学として今後大いに期待している。(まだ拠点としてスタートしたばかりなので・・・)
- まずは学生に地域を知ってもらうことが重要。

理由：(満足)

- 地域の定住促進に向け、実りある共生学の構築に期待する。
- 圏域内の視察を行い、地域を知ると言う意味で密着している事業を行ったと思います。
- 圏域の問題を見つめ、定住に結びつけられたらと期待する。
- 伊勢市を主としている感はありますが、地域を大切にしている姿勢は感じます。
- 自治体や産業界等と連携し、社会貢献事業が推進されている。